

祖母傾山系 傾山 1602m(Ⅱ等)

ルート図(九折-九折越-傾山-三ツ尾)HP より



原尻の滝



民宿安藤懇親会



山域研究「太郎物語」



H23.5.3(火)-4(水)11名参加(天草山岳会)

1号車-KY、KM、YH、SM、NM

2号車-SH、Sh、TY、FA、KK

3号車-NE

5/3 曇(黄砂)8:06 天草市役所 9名出発, 8:25 上津浦 1名合流, 11:50 阿蘇道の駅(弁当), 13:25 岡城址, 14:00 原尻の滝, 15:00 民宿安藤着, 16:00 総会, 17:00 夕食

5/4 快晴 6:30 民宿出発, 6:50 九折登山口, 8:30 カンカケ谷, 9:28 林道, 10:44 九折越, 12:40 傾山(弁当), 13:25 下山開始, 13:58 三ツ坊主分岐-水場コースへ, 15:35 合流点, 16:00 三ツ尾, 17:15 林道, 17:50 観音の滝, 18:20 登山口着, 19:40 竹田温泉(花水月), 23:15 宇土駅 5/5 0:40 本渡解散, 参加費 400km1 万円(資料代, 高速代, 民宿弁当代 6500 円, 写真代, 車代還元 7000 円)

本渡から 9 名が車 2 台で出発する。上津浦で 1 名が合流し、ジャケツイバラを観察する。車が多く熊本市内を迂回して立野から国道 57 号へ入る。阿蘇道の駅で弁当を食べ、竹田でお酒を買い岡城址へ立ち寄る。道の駅原尻の滝で休憩し山間の道を通り民宿安藤に到着した。

車で約 2km 走り登山口を下見して総会を開始する。総会では会員会友及び未会員を加え 10 名と不参加者については一任という形で KY さんの司会で進めた。

平成 22 年度活動報告では新入会員 4 名、会員 18 名会友 5 名。年間山行報告、会企画定例山行を 8 回実施。会報「観海アルプスNo.3」の原稿募集中。会計報告、特別会計報告など採択されました。

平成 23 年度活動計画では年間山行計画、7 月白髪岳、9 月国見岳、11 月次郎丸嶽、2 月仰烏帽子山、5 月総会由布岳予定など採択。役員選出採択。その他年間登山ランキング 23 回 KY 氏。平成 26 年天草山岳会創立 30 周年記念登山アンケート配布。山域研究「太郎物語」の発表。夕食懇親会は肉鍋料理とテンプラなどおいしく頂いた。

センゲン尾根のブナ林



前傾(左) 本傾(中央) 後傾(右)



傾山山頂(KY)



アケボノツツジ



5/4 快晴の空のもと 6:55 九折登山口を出発。駐車場は満車の状態で登山者も多い。鉾山施設と思われる水路に沿い登り始める。途中から九折越方面へ右折すると道が細くなり他の登山者に合わなくなった。カンカケの滝を下に見て川の左岸沿いに登る。カンカケ谷に下りて大岩がゴロゴロした谷を登る。右岸に移り急な崖を木の根を掴みながら登る。長い登りの末に林道に出た。想像していた以上に立派な林道。急だが快適な尾根道に変わりカヤの大木がある。高度 800m の標識の付近から樹林が細くなる。1000m 桜の花びらが落ち、桜の木と根元に熊野神社の祠があった。1100m ブナの樹林帯の中に三ツ坊主の岩峰群が正面に見えてくる。三角形をしたブナの種を拾う。1200m の標識を過ぎて九折越の広い台地に着いた。

センゲン尾根のブナ林は気持ちの良い樹林帯で傾山が正面に見えてくる。後傾の岩峰を登るときには疲労もピークになり休憩も増えてくる。紫色のツツジ、黄色のマンサクの花が咲く。後傾山頂からいったん冷水分岐の鞍部へ下り登り返して本傾山山頂へ到着。弁当を食べる間に皆が到着し記念写真を撮る。

大白谷方面への下山にかかる。前傾の岩壁を横断し三ツ坊主岩峰群へ向かうが急な岩壁の下りのところで引き返し水場コースを下る。長い下りの途中で今回の目的の一つアケボノツツジに出会う。5m ほどの木の先端に 5cm ほどの薄いピンク色(曙色)の花びらが咲いていた。合流点から三ツ尾を左折し尾根を下る。カヤの大木帯を過ぎると杉檜の植林地を下る。やっと林道へ下りさらに観音の滝まで下る。観音の滝は 100m であろうかと思われる高度差がある。樹林の中は薄暗くなりやっと 18:20 駐車場に到着する。なお 1 名は別行動した。

竹田温泉(花水月)に入り途中でチャンポンを食べて宇土駅でトイレ休憩。5/5 日付が変わった夜中に本渡へ帰った。

[参考文献] ①九州の山(山と溪谷社) (N)